



諸生産物の慘落で 城の減收四百萬圓

之れでは農村も暮せぬ筈 放置せば事態容易ならず

石城地方は炭礦の所在で縣署が立たない筈であるが、下に絶對唯一の繁榮を博し云はれてゐるが救済資金もたものであつたが近年の財の他、
現内閣の名目ばかり、
窮鼠猫を噛むの喩が現實化、
落等々生産物の總てに殺人、
落等々生産物の總てに殺人、
落等々生産物の總てに殺人、

現内閣の名目ばかり

窮鼠猫を噛むの喩が現實化、
落等々生産物の總てに殺人、
落等々生産物の總てに殺人、

法律の

石城郡方面共済委員會が此、
石城郡方面共済委員會が此、
石城郡方面共済委員會が此、

無料相談

石城郡方面共済委員會が此、
石城郡方面共済委員會が此、
石城郡方面共済委員會が此、

各關係

石城郡方面共済委員會が此、
石城郡方面共済委員會が此、
石城郡方面共済委員會が此、

百五十萬圓

石城郡方面共済委員會が此、
石城郡方面共済委員會が此、
石城郡方面共済委員會が此、

備前講習會を開催する
出である。

レコード

コンサード

廿六日聚樂館で
平町の詩南社主催レコード
コンサードは明二十六日午
後六時から聚樂館に於て開
催の筈であるが左記の舞踊
もあつた由で町内フアンの人
時を其者が貧困にして救済
濟を要するものなる趣旨
の所轄町長若くは警察
署長又は人事相談所長等
の證明書を持参するもの
に限り本會は(共済委員
會方面書記(平町役場内)
花澤文庫宛)無料にて専
門家辯護士を紹介し之れ
が救済を請ふること、相
成候に付御合みの上開知
方御取計相成度此段及御
依頼候

夏季の警中

各種の催

水泳に登山に
受驗準備講習
石城郡方面共済委員會が此、
石城郡方面共済委員會が此、
石城郡方面共済委員會が此、

蠅取りデー

良き衛生施設
平町字白銀町では過般平署
及び役場並に衛生局長の
申合せに基づきよりよき衛
生施設をなすべく區民を舉
げて努めてゐるが今夏季中
に於ける毎日蠅取りを蠅取
に定める日を以て驅除す

小田炭鑛の 体不明

廿四日發見
石城郡好間村の小田炭鑛が
發見して、需用家から要求
される値下をばねつなげな
が、ボルトの足りない十燭
の死体未発見を出だし排水
を以て一種の陰惨な空氣が
來たらす、何時も決つた様
が、未だに惠まれた日は

四倉から 臨時列車

平着を三回
平野が夏季に於ける海岸の
盛りには臨時列車の運轉
をなすことは既報したが四
倉驛では同じく左記の臨時
運轉をなすことになつた
▲八月十日午後四時二十
四分半行、十七日午前九
時半同上、廿四日午前十
時半同上

和歌

高木愛一
山棟蛇
垣つべのあらぐさがくり
山棟蛇、腹ふくらまして
どぐる巻き居り
竹やぶのしみ、明るき中
にして、ぐみの實はいま
熟れ盛りなり
商港の實施附近きこの町
にけならべて鯛の大漁つ
ぐく
勤め了へて歸り來ぬれば
家居への子等集ひ來て遊
ばんと云ふ
我が山の焼あとに生ひし
早蕨と母は告らして飲食
し給ふ。

改革概論(百)

大内民惠
第七章 師範學校
教育監督局
かくて一旗中より師範生
出だし、教父母を出だす
と、門 郷の譽、す
主義、責任分担主義、父母
兩性共同主義、男女共學主
義でなければならぬので
あります、然し以上の主義

和歌

高木愛一
山棟蛇
垣つべのあらぐさがくり
山棟蛇、腹ふくらまして
どぐる巻き居り
竹やぶのしみ、明るき中
にして、ぐみの實はいま
熟れ盛りなり
商港の實施附近きこの町
にけならべて鯛の大漁つ
ぐく
勤め了へて歸り來ぬれば
家居への子等集ひ來て遊
ばんと云ふ
我が山の焼あとに生ひし
早蕨と母は告らして飲食
し給ふ。

和歌

高木愛一
山棟蛇
垣つべのあらぐさがくり
山棟蛇、腹ふくらまして
どぐる巻き居り
竹やぶのしみ、明るき中
にして、ぐみの實はいま
熟れ盛りなり
商港の實施附近きこの町
にけならべて鯛の大漁つ
ぐく
勤め了へて歸り來ぬれば
家居への子等集ひ來て遊
ばんと云ふ
我が山の焼あとに生ひし
早蕨と母は告らして飲食
し給ふ。

短編

宇木與三生
犬も歩けば棒にあたるで
あろう、目途のない終日の
ブラから戻つて來た傳
吉は、例の引戸を靜かに押
開いた、
家内はもう薄暗かりにな
つてゐて、事業が獨占的
であるのと大會社である、
本主義の最も厭はれる所
を發揮して、需用家から
要求される値下をばねつ
なげな、ボルトの足りない
十燭の死体未発見を出だ
し排水を以て一種の陰惨
な空氣が來たらす、何時
も決つた様が、未だに
惠まれた日は

骨牌で檢舉

石城郡赤井村西小川字豊田
四生れ平町長橋町二五福徳
生命保險勧誘員前科二犯小
松傳重(四)は去る二十日午
後一時より六時まで材木町
一一小林芳吉(四)方で左記
五人と現金花賭博せる事平
署刑事に探知され二十四日
逮捕嚴重なる取調を受け
てゐるが他は左記の四名で
ある。
▲捕屋町家民平(三)鈴
木幸太郎(四)大谷榮次(四)
丸根本松太郎(三)

改革概論(百)

大内民惠
第七章 師範學校
教育監督局
かくて一旗中より師範生
出だし、教父母を出だす
と、門 郷の譽、す
主義、責任分担主義、父母
兩性共同主義、男女共學主
義でなければならぬので
あります、然し以上の主義

蠅取りデー

良き衛生施設
平町字白銀町では過般平署
及び役場並に衛生局長の
申合せに基づきよりよき衛
生施設をなすべく區民を舉
げて努めてゐるが今夏季中
に於ける毎日蠅取りを蠅取
に定める日を以て驅除す

小田炭鑛の 体不明

廿四日發見
石城郡好間村の小田炭鑛が
發見して、需用家から要求
される値下をばねつなげな
が、ボルトの足りない十燭
の死体未発見を出だし排水
を以て一種の陰惨な空氣が
來たらす、何時も決つた様
が、未だに惠まれた日は

四倉から 臨時列車

平着を三回
平野が夏季に於ける海岸の
盛りには臨時列車の運轉
をなすことは既報したが四
倉驛では同じく左記の臨時
運轉をなすことになつた
▲八月十日午後四時二十
四分半行、十七日午前九
時半同上、廿四日午前十
時半同上

和歌

高木愛一
山棟蛇
垣つべのあらぐさがくり
山棟蛇、腹ふくらまして
どぐる巻き居り
竹やぶのしみ、明るき中
にして、ぐみの實はいま
熟れ盛りなり
商港の實施附近きこの町
にけならべて鯛の大漁つ
ぐく
勤め了へて歸り來ぬれば
家居への子等集ひ來て遊
ばんと云ふ
我が山の焼あとに生ひし
早蕨と母は告らして飲食
し給ふ。

